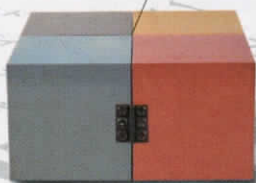


積層合板による  
人工木目の  
調味料入れ



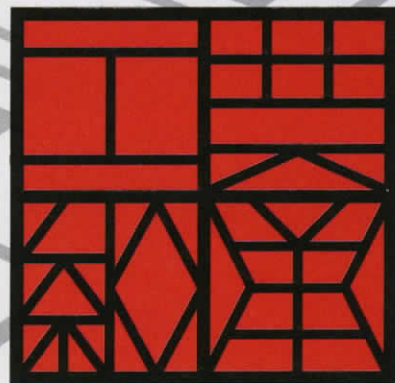
4色の組み合わせ  
宝石箱



仙台箆笥を  
モチーフにした木箱



非円形  
ろくろで  
作った鉢



2017年1/14[土]-2/26[日]

**開館時間** 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)

**休館日** 毎週月曜日

**観覧料** 無料(常設展観覧料でご覧いただけます。)

常設展観覧料:一般400円(320円)、高校生以下無料

※カッコ内は20名以上の団体

主催:東北歴史博物館

共催:  河北新報社

後援:  産総研 | 東北センター / 多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 /  
多賀城・七ヶ浜商会 /  仙台放送局 /  TBC東北放送 /  仙台放送 /  KHB東日本放送 /  
 三陸テレビ / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 /  
産経新聞社東北総局 /  エフエム仙台 / 宮城ケーブルテレビ

東北歴史博物館  
TOHOKU HISTORY MUSEUM

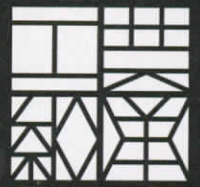
JR東北本線国府多賀城駅となり / 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分

平成28年度  
文化庁地域の核となる  
美術館・歴史博物館支援事業



特別展  
現在から捉え直す国立工芸指導所  
工芸云継承





特別展

現在から捉え直す国立工芸指導所

# 工芸継承



工芸指導所正面玄関での記念写真 中央にブルーノ・タウト

昭和3年に宮城県仙台市に置かれた国立工芸指導所は、工芸の近代化、産業化の推進と東北地方の工芸の発展を目的に活動を行っていました。また、ブルーノ・タウトやシャルロット・ベリアンを招聘し指導を受けるなど、世界の先端に触れながら技術開発を進めました。出身者には剣持勇、豊口克平などが知られ、工芸界、デザイン界をリードする組織として、昭和40年代まで活動を続けました。



シャルロット・ベリアンを囲んで

この工芸指導所ゆかりの試作品を紹介する本展では、宮城県で活動する若手職人やデザイン・工芸に関心を持つ学生たちとのワークショップを通して、彼らの視点から工芸指導所の試作品を捉え直す試みをしました。そして、試作品にインスピレーションを得て製作した作品から、暮らしを豊かにする現在の工芸品も考えてみました。工芸指導所の置かれた仙台・宮城の地で、これまでの工芸、これからの工芸を考えてみたいと思います。

## 関連行事

### □ 展示解説会

- 特別展示室(観覧チケットが必要です。)
- 毎週日曜日、祝日 午前11時～
- ワークショップメンバー(当館職員、学生、職人)による展示解説を行います。

### □ 職人による実演・ワークショップ

- 展示室ロビー
- 期間中5回開催 午後12時30分～14時30分

1月22日(日)	漆芸家による漆塗り実演
1月29日(日)	家具職人による作業実演
2月11日(土・祝)	漆作家による漆塗りワークショップ
2月19日(日)	木工芸家によるクラフトワークショップ
2月26日(日)	仙台箆簞職人による塗装実演

※内容が変更になる場合があります。



木ベラを使って下地塗りに取り組む学生



職人の工房で打ち合わせ



漆の下地塗りに取り組む学生



試作品をみなからのワークショップ



モックアップをみながら職人と打ち合わせ

次回の  
展覧会

特別展「世界遺産 ラスコウ展  
クロマニヨン人が残した洞窟壁画」  
2017年3月25日(土)～5月28日(日)

## 東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)  
Email: thm-service@pref.miyagi.jp

お問い合わせ専用番号

TEL.022-368-0106

東北歴史博

検索



### JR線をご利用の方

- 仙台駅から14分、JR東北本線「国府多賀城駅」となり
- JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分またはタクシー約10分

### お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分
- 国道4号線若竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 仙台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

この印刷物は再生紙を使用しています。

